



可児っ子しんちゃん300回
記念冊子「オーしんちゃん」
好評発売中!



市役所の仕事の1つに「日直」というものがあります。休日の中、出生や死亡などの届け出の受付、電話などでの問い合わせに答えるのが主な内容です。日直を行う日は、より一層の可児市の平和を願うわけですが、世の中はそんなに甘くありません。「〇〇課のやっているアンケートだけど…」、「蛇口から水が出ないが…」、「近所で野焼きをしている…」などなど。市の業務の広さを感じると同時に、自分の無力さを実感する日になります。届け出や電話が重なると、昼食をとる時間もないときがあります。のびて冷めきった出前のうどんをすすりながら、以前、お世話になった市民の方から言われた「マルチな職員になれ」という言葉を思い出します。(智)

図書館だより

本館 ☎62-5120
(火曜～金曜 午前10時～午後7時)
(土曜・日曜 午前10時～午後5時)
帷子分館 ☎65-8530
桜ヶ丘分館 ☎64-3473
(分館は全日 午前9時～午後5時)
<http://www.tosyokan.kani.gifu.jp/>

展示のご案内

- 「市史編さん室からパート15」展
2/27(土)～3/25(木)(本館)
- 「大切なあなたに贈る絵手紙」展
2/27(土)～3/25(木)(帷子分館)
- 「彩紅会小品」展
2/27(土)～3/25(木)(桜ヶ丘分館)

新しくいった本

- 二「食堂かたつむりの料理」
小川糸、オカズデザイン／著(ポプラ社)
- 「あたりまえだけどなかなかできない42歳からのルール」 田中和彦／著(明日香出版社)
- 「龍馬「海援隊」と岩崎弥太郎「三菱商会」」
童門冬二／著(朝日新聞出版)
- 「公的助成金活用ガイド」
南波卓／著(中央経済社)
- 「大相撲力士名鑑」[相撲]編集部／編
(ベースボール・マガジン社)
- 「咲くやこの花」青木邦子／ノベライズ・
藤本有紀／作(日本放送出版協会)
- 「つづきの図書館」柏葉幸子／作(講談社)
- 「ゴリラくんのしちょうさん」
きむらよしお／作(絵本館)
- 「とら猫とおしょうさん」かないだえつこ
／絵・おざわとしお／再話(くもん出版)

児童書

【本館】毎週月曜日、3月26日(金)
【帷子・桜ヶ丘分館】
毎週月曜日、3月21日(日)、26日(金)

かにっ子タイム

○本館・帷子分館・桜ヶ丘分館
毎週土曜日 午後2時～

【内容】絵本の読み聞かせ、お話、紙芝居、本の紹介など

ちびっこかにっ子タイム

○本館 第2・4木曜日 午前11時～
○帷子分館 第2・4木曜日 午前10時30分～
○桜ヶ丘児童センター

第1・3・5水曜日 午前11時30分～
【内容】赤ちゃん絵本の読み聞かせ、手遊びなど

★おすすめ本の紹介★

『犬ロボ、売ります』

レベッカ・ライル／作・松波佐知子／訳・小栗麗加／絵 (徳間書店)

(あらすじ)

ロボ・ワンは、新米発明家のトムが発明した、本物の犬そっくりのスーパーお手伝いロボット。でも、けちでぐうたらなヨゴレータ一家にこきつかわれ、身も心もヘトヘトになってしまいました。そこへ…? 人間と同じ「心」や「気持ち」を持った犬ロボは、やさしい飼い主を見つけることができるでしょうか?



男女共同

さんかくサロン

No.30

メディアにおける性暴力表現

昨年10月、内閣府は、男女共同参画社会の実現に向け国民の意識を把握するため、「男女共同参画に関する世論調査」を実施しました。今回はその中の「テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピューターゲームなどのメディアにおける性・暴力表現に関する意識」について注目してみましょう。

メディアにおける性・暴力表現についての質問に、8割の人が「問題がある」と答えています。その理由として、「性・暴力表現を望まない人や子どもの目に触れている」とした回答が63%で最も多く、次いで「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」とする回答が59%となっていました。

次に、「メディアにおける性・暴力表現を制限する場合、どのような方法で制限するのがよいか」の質問には、「インターネット接続業者によるブロッキングの実施」や「メディアや制作会社が加盟している業界団体による自主規制」、「法改正や新しい法律の制定による規制」を望むといった回答が多くありました。

例えば、近所のコンビニや書店において、子どもが簡単に手に取れるところに、性に関するグラビア雑誌や漫画雑誌などが置かれている様子は、とても気になります。あなたはごどう思いますか?

問合せ先 総合政策課

健康の知恵ふくろ No.30 ~糖尿病が増えています~

●糖尿病とは

私たちが食べた糖分やデンプンは、消化管でブドウ糖(体を動かすエネルギー源)などに変えられて吸収されます。筋肉などの細胞にブドウ糖を送り込む働きをしているのが、インスリンというホルモンです。糖尿病はこのインスリンの量が不足したり、インスリンを細胞に送り込む働きが悪くなったりして、血液中にブドウ糖が余ってしまい血糖値が上がる病気です。

可児市でも糖尿病予備群が増え、平成20年度可児市特定健診受診者の約4割に、心配な値が見られました。

糖尿病を引き起こすような食生活、運動不足などがないか、今の生活習慣を見直してみましょう。

●インスリンを上手に使うために

〔食事〕血糖値を急激に上げてしまう食事の摂り方も禁物です。野菜やキノコ、海藻など繊維質の多い食品から食べ、よく噛むことで血糖値を緩やかに上昇させます。

〔運動〕筋肉を動かすことにより、血中のブドウ糖がエネルギーとして使われ、血糖値が下がります。

また、ウォーキングなどの有酸素運動は、内臓脂肪を減らし、インスリンの働きを良くさせます。階段を使う、できるだけ歩くなど、生活の中で身体活動量を増やすことも有効です。



問合せ先 健康増進課

良好な景観づくり Vol.6 「景観まちづくり」を進めるために

皆さんは、自分たちが暮らしているまちのことを考えたことがあるでしょうか。「花や緑がたくさんあるといいなあ。」とか、「高い建物や派手な建物は要らない。」とか、それぞれに思いがあるはず。『景観まちづくり』とは、皆さんのそうした思いを具体化していくための手法です。それぞれの地域で「こんなまちにしていきたい。」というまちの将来像を皆さんが共有し、その将来像を実現していくためのルールや活動を考え、実行していくことなのです。

「景観」とは、まちの歴史や文化、人々の生活、自然の風景や建築物などあらゆる要素が組み合わせられて形成されているものであり、そのまちのあり方そのものです。つまり、魅力的なまちを保全したり、創造したりすることが、実は良好な景観を形成していくことであり、「景観まちづくり」なのです。

可児市が策定した「可児市景観計画」には、景観まちづくりの進め方や方向性などが詳しく書かれています。一度ご覧ください。

みんなで景観まちづくりを進めていきましょう。



景観を意識して整備された閑静な住宅街

問合せ先 都市計画課